

Press Release

2016年5月13日

“キサゲ”鍛錬し黄綬褒章を受章

この度、DMG 森精機株式会社(以下、当社)の社員である石橋 一明(いしばし かずあき)が、平成 28 年 4 月 29 日に発令されました平成 28 年春の褒章において、黄綬褒章を受章いたしました。

黄綬褒章は、農業、商業、工業等の業務に精励し、他の模範となるような技術や事績を有すると認められた方に授与されます。

石橋は昭和 57 年(1982 年)に入社し、今回表彰された技能である「キサゲ作業」に 34 年にわたり携わってまいりました。「キサゲ作業」とは、工作機械の稼働部分の接地面に、手作業で微細な凹凸を削り出すことで、機械が滑らかに稼動するよう加工を施す作業で、高精度な工作機械を製造するために欠かせない最も重要な工程の1つです。

石橋は長年にわたり鍛錬を重ねて技能向上に努めてきただけでなく、2011 年には「キサゲ道場」を社内に立ち上げ、次世代の技能修得者の育成にも取り組んでまいりました。

また、2014 年には厚生労働大臣が表彰する「卓越した技能者(現代の名工)」にも選出されております。

今回の受章をこれからの励みとし、当社としても、さらなる技能者の育成、技能の伝承に努めてまいります。



5月11日 授章式にて